

渋川市小中学校 P T A 連絡協議会 広報



新生市 P 連～親・子・先生、一つになっ
て各地区に「心の橋」をかけよう。

かけはし

第 2 号

平成 21 年 2 月 発行

発行
渋川市小中学校 P T A 連絡協議会
印刷
（有）オ ン ダ 印 刷

会長ありあつ

渋川市小中学校 P T A 連絡協議会

会 長 増 村 千 明



今年度も早いもので 3 学
期を迎え、残りわずかとな
りますが、活動計画が滞り
なく無事消化できたのも、
皆さまのご協力のたまもの
と感謝している次第です。

合併して 3 年、P T A 連絡協議会の組織も新体制
となり 27 校が全力で取り組んでいるところです。そ
れぞれの単位 P T A が横のつながりを図り、意見交
換し、本音で協議できるようにになりました。

今、子供たちを取り巻く環境は激変しています。
そんな時だからこそ P T A 組織がなくてはならない
のではないのでしょうか。そのためにも、これからの
子供たちの健全育成、地域とのつながりをもった子
育ての必要があり、私たちがパイプ役となり子供た
ちを見守っていく必要があると思います。

学校、家庭が地域ぐるみで子供を育てるといふ視
点を大切に、これからも皆さまのご協力、ご支援を
いただき活動を続けていきたいと思います。
関係各位の皆さま方には、今後も更なるご指導ご
鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

総 会

平成 20 年度渋川市小中学校 P T A 連絡協議会定期
総会を、5 月 17 日渋川プリオパレスで開催しました。
当日は木暮市長、大島市議会議長、小林教育長と各
学校長など多数のご来賓のご臨席をいただきました。
議事では、平成 19 年度事業報
告、収支決算報告及び監査報告
がされ、全会一致で承認されま
した。引き続き、平成 20 年度役
員を承認いただき、新役員から
活動目標、事業計画及び予算を
上程、全会一致で承認され、増
村新会長の下、新たな体制で平
成 20 年度の活動をスタートし



ました。
総会終了後の懇親会では、お国自慢ならぬ各中学
校区の P T A 活動自慢が披露され、お互いの懇親を
深めました。最後は、新役員が作るアーチに旧役員
が送り出され、和やかな雰囲気にも包まれ終了しまし
た。

三者連携協議会活動の推進を！ 教育長との懇談会



渋川市小中学校 P T A 連絡協
議会主催の「教育長との懇談会」
を、10 月 7 日渋川市役所第二庁
舎で開催しました。

当日は、小林巳喜夫教育長を
お迎えし、加盟二十七校の P T
A 会長と「生きる力を育てるた
めの学校・家庭・地域三者連携
推進協議会（以下、三者連携推
進協議会という。）について、各
地域の活動状況などを中心とし
て活発な意見交換が行われました。
本年度から本格的に始まった三
者連携推進協議会は、次代を担
う子供たちを地域で健全に育て
、生きる力（心）を養っていくた
めに学校・家庭・地域の三者が
どのように連携を深めていくべき
かを協議する組織であり、各中
学校区単位の組織的活動となっ
ております。

各地域からの意見を聞いていると、各
地域間でも温度差があるように思
われました。例えば、中学校区
内の学校の足並みが揃わないた
め、殆ど活動していない地域も
あれば、地域が小さいため昔か
ら学校、家庭、地域の連携が自
然とできてきている地域もあり
、今後、全学的な活動に発展さ
せるためには、かなりの努力を
要すると思われま

す。
私たち P T A が、今後、学校と
地域の間で、子供たちのために
何ができるか、そして何をすべ
きなのか考える良い機会となっ
た懇談会でありました。
最後に、来年度からは教育長
単独との懇談会ではなく、教育
委員会学校教育課等行政にも
参加を呼びかけての意見交換
会にしていくことを確認し閉
会となりました。

スポーツ交流会

渋川市小中学校 P T A 連絡協議会主催の「ソフトバ
レーボール大会」を、秋晴れの 10 月 19 日、渋川市総合
公園体育館で開催しました。日頃、運動不足ぎみの P
T A 会員や各学校長をはじめとする先生方など多数の
ご参加をいただき、盛大に試合を行いました。

最初は、笑顔で遠慮しがちにプレーをしていた
方々も、最後は熱が入り、かなり緊迫した？ ゲーム
が展開されました。ゲームを通じて、参加した会
員相互の親睦が図られ、爽やかな汗を流した一日と
なりました。
成績は次のとおりです。

スポーツ交流会成績

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック
優勝	小野上小	渋川中	渋川比小
準優勝	橋北小	豊秋小	金島小
3 位	三原田小	赤城南中	古巻中

皆さま大変お疲れさまでした



どのチームも真剣です

「今、思うこと、考えること」 教育長講演会

「今、思うこと、考えること」と題して、小林巳
喜夫教育長による「教育長講演会」を、7 月 4 日金
島ふれあいセンターで開催しました。

40 年近く教育の現場に携わった小林教育長が、「子
供にとつて家庭とは・・・」、「家庭のあり方」、「教
育とは・・・」など、私たちが日々考えさせられ、
悩まされている問題について、ご自身の考えを語っ
ていただきました。

また、「教育とは心を伝え、心をかよわせ、心を
高めること」、「子供に必要なものは、お母さんの手の
ぬくもり、体の温かさを感じられるということ」、「子
供には夢と笑顔を、親には子育てを通しての生き甲
斐を、地域には安らぎと安心を」、「親子、夫婦互い
に見えるものを見る努力をする」など、小林教育
長の率直なお考えを聞くことができました。
当日は、たくさんの方々の P T A 会員の方々にご参加
いただき、大変有意義な講演会となりました。

平成20年度 渋川市小中学校PTA大会

渋川市小中学校PTA大会を、10月21日お菓子の城(ホワイトパーク)で開催しました。当日は、木暮市長、大島市議会議長、小林教育長と各学校校長など多数のご来賓のご臨席をいただきました。

前年度功績のあった方々へ、小林教育長と増村市PTA連絡協議会会長から感謝状の贈呈を行い、本年度から新たに始まった事例発表では、渋川北小学校PTA役員の方々から、本部役員の選出方法に関する発表がありました。

大会終了後の懇親会では、ご来賓の方々と会員の意見交換等がされ、和やかに歓談しました。感謝状を受け取られた方々は、次のとおりです。

表彰者一覧

渋川市小中学校PTA連絡協議会表彰 15名
(敬称略・順不同)
石北智子(渋川北小)・相川雅子(古巻小)・杉木圭子(豊秋小)・伊能信行(渋川西小)・千明孝之(高橋夕貴子(渋川中)・篠原加代子(金島中)・井野真二(古巻中)・海老沼恭子・横手理恵子(伊香保中)・藤川栄・塩谷春雄(赤城南中)・星野紀明・永井政明(橘小)・長谷川直樹(橘北小)

渋川市小中学校PTA連絡協議会感謝状 51名
(敬称略・順不同)
福本洋子(渋川北小)・齋藤隆義・塩谷康江(渋川南小)・渡邊朋子(金島小)・野口清美(古巻小)・真田村茂・小村ます子(豊秋小)・新保悟志・灰田・國内紀(渋川西小)・伊藤一弥・伊藤直子(渋川中)・谷内武正史・田口小百合(渋川北中)・飯塚陳古(古巻中)・田由紀江(金島中)・町田敏彦・石坂峰子(古巻中)・清水聖二・田村房枝(伊香保小)・高橋秀樹・倉上弘子(伊香保中)・野村厚久・杉山ひろみ(小野上小)・一場美仁・平方久子(小野上中)・生方泰子・小菅茂子(上白井小)・飯塚彰・野村はるみ(中郷小)・小菅耐多・高津はつよ(長尾小)・入澤達也・生方幸美(子持中)・藤川忠・嶋村由美子(三原田小)・石田浩一・永井ゆかり(刀川小)・高橋洋二・狩野裕子(津久田小)・名塚菊夫・兵藤弘美(南雲小)・石坂真啓・須田信子(赤城南中)・兵藤修也・奥山さとみ(赤城北中)・川野洋一郎・飯野美咲・葉(橘小)・藤井賢治・都丸知子(橘北小)・今井兼寛・外丸栄子(北橘中)

受賞された皆さま、大変おめでとうございます。



母親委員会活動紹介

平成20年度の母親委員会の主な活動を報告します。10月16日に高崎商業高校の司書専門員である太田克子先生をお招きして、「読書っておもしろい?! 子どもを本に近づけるのは」という題で読書へのアニメーションというスライドを使った読書教育法について話して頂きました。

12月9日に学校見学会を行い、渋川南小学校のオープンスペースや上白井小学校のダブルダッチなどを見学、橘



北小学校の自校給食の試食をさせて頂きました。12月14日に農産物の生産者と消費者の相互理解を深めるためのトーク交流会を行い、2月14日に渋川ロータリークラブ、親子劇場共催で荒馬座講演を行いました。母親委員会の一年間の活動を紹介する広報誌の「お母さんのひろば」を発行しておりますので、こちらもぜひ一読くださいますようお願いいたします。

自分が何をどう頑張れば、どうなれるかを示してやれば子供たちは頑張れる

第40回(旧)日本PTA関東ブロック研究大会報告

渋川市立橘小学校PTA会長 都丸健一

平成20年10月17日から18日に、埼玉県熊谷市で開催された「第40回(旧)日本PTA関東ブロック研究大会」に、渋川市小中学校PTA連絡協議会を代表して参加しました。同研究大会において、百マス計算で有名な陰山英男氏の講演が、とても印象に残りましたので、その概要をご報告させていただきます。同氏の講演会の演題は、「学力は一年で伸びる」です。

○義務教育は社会的に自立できる能力を身につけること。重要な8ポイント

1. 朝食をしっかりと食べる
2. 食べる子IQ102 ↓ 食べない子IQ90
3. 朝食が貧しいと成績が貧しい。
4. 朝食の内容を良くしたらIQが20上がった。
5. 和食がGood。
6. 20時から21時に寝る子の学力が高い。
7. 22時から2時が脳内における記憶の定着時間のため、この間勉強しても残らない(大学生も含む)。
8. 24時過ぎまで勉強した東大生はいない。
9. 0歳から小学校低学年で体内時計が完成する。この期間にしっかりとった体内時計をつくらないといけない。
10. TVゲームは1時間、後は読書
11. 読書がIQに最も影響を与える。
12. 10冊超え/月に正比例してIQが伸びる。
13. 毎月何らかの形で本を読む。
14. 計算はあつという間にできるよう早くする
15. 反復の高速化が脳を鍛える。
16. 成績向上の特急券、漢字と英単語のガリ勉強
17. 漢字はつめこみが一番。
18. 決まったプリントで漢字を書けるようにする。
19. 意味を知らながら熟語すべてを覚えていく、忘れさせない。

6. 3ヶ月やれば80%定着。DSはゲーム機ではなく学習マシン
7. 端末と考えると活用する。PCもゲームだけならゲーム機。PCをそんなことのために活用していませんか? DSも同じこと、ゲームのみに使われない。いろいろな学習ソフトが出ています。(大阪府ではDSを試験的に80台導入すること)
8. 恥ずかしくない小学校低学年の復習
9. 行事の多い夏休みや、忙しい春休みより冬休みが復習の一番できるとき。
10. 小学校の学習は多くない、完全に覚える
11. 公式や定理など20から30程度。完全に覚える。
12. その他重要なこと
13. 2時間以上/日TVを見るとIQは低下。長時間ディスプレイを見ること(3時間以上)が脳を壊す。日本の中学生は世界で最も家で勉強をせず、もつとも長くTV(ディスプレイ)を見ています。小中で3時間以上はダメ。=IQ/2=II学力偏差値。
14. 基本は瞬時に言えて本当。「大体分かる」という言葉は「分からない」と同じ。
15. 百マス計算で最も上がるのは思考の因子。文章問題などに、より効果がある。
16. 日本の中学校三年間で覚える英単語は900、中国の小1で覚える英単語は1000。すでにアジア地区の留学生間の会話に通訳は要らない。みな英語で話せる。近隣諸国の中で日本の学力は最下位。
17. これらのことはスポーツにも良い影響を与えると考えている。(具体的なデータはこれから)

以上のような事柄でした。多少ニュアンスが違っている部分もあるかもしれませんが、メモしてきたことを再現してみました。すべて数字の裏づけがある中での話でしたので、非常に説得力がありました。参考にしていただけたら幸いです。同氏の著書は多数ありますので、書店で見てもいいと思います。

「自分が何をどう頑張れば、どうなれるかを示してやれば子供たちは頑張れる」同氏のこの言葉を最後に報告いたします。

編集後記

「本当に広報紙が出せるのかな?」と、市P連広報委員と頑張って心配していましたが、何とか発行にこぎつけて、「ほつ」としております。歴史の違う各地域の小中学校が、渋川市という「ほつとなまち」で一つになれるよう市P連としての活動が推進されることを願っております。